



雨水を貯めて使って、戻しましょう!

貯留タンク等の設置には助成制度をご利用ください!

大津市では雨水を貯めたり、できるだけ地面にしみ込ませたりすることで、大雨の際の浸水被害等を防ぎ、健全な水循環の回復を図っております。平成19年より助成事業を開始して以降、これまでに746件助成してきました。豊かな水循環、安心して暮らせるまちづくりのために、貯留タンク等の設置助成制度をご活用ください。

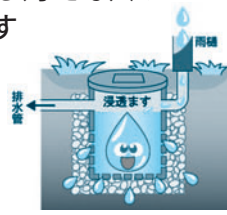
【貯留タンクとは?】

屋根に降った雨を雨といから貯めるタンク



【浸透ますとは?】

屋根に降った雨を地下に浸透させる、小さな穴の開いたます



申請にあたっての注意点

- 1 決定通知書交付の前に購入・設置された場合、助成の対象となりません。
- 2 申請者は対象建築物の所有者または所有者の同意を得た使用者の方に限ります。

	雨水貯留施設(貯留タンク100ℓ以上)	雨水浸透施設(浸透ます)
対象建築物	戸建住宅、集合住宅、事業所など(※1)	
対象区域	大津市公共下水道事業計画区域内(※2)	大津処理区内(※3)
申請回数	1回	
対象経費	本体及び付属品の購入費	設置工事費(※4)
助成金額	対象経費の2/3	
	100ℓ以上150ℓ未満	上限25,000円
	150ℓ以上200ℓ未満	上限35,000円
	200ℓ以上	上限40,000円
	(建築物1棟につき1基まで)	
	対象経費の2/3 上限60,000円	

- ※1) 販売や展示を目的とした建築物は除きます。対象建築物の所有者が申請を行ってください。
 ※2) 下水道供用区域とその周辺。葛川学区全域と小松、木戸、和邇、南郷、大石、青山学区の一部地域は含まれません。
 ※3) 滋賀、山中比叡平、長等、逢坂、中央、平野、膳所、富士見、晴嵐学区の市街地部です。
 ※4) 雨水浸透施設の設置工事は大津市指定排水設備工事業者をお願いしてください。



申請書は企業局ホームページからダウンロードしていただくか、その他、下水道施設課及び市民センターの窓口でも配布しております。

お問い合わせ先 下水道施設課 ☎077-528-2765

企業局経営戦略を改訂しました

これからも、お客様の暮らしを支えるパートナーであり続けるために、企業局が経営する上下水道・ガス事業の持続的成長を目指し計画を立てています。

経営戦略は、オーケストラという指揮者のような役割です。

この計画は、あたり前の日常を届けそしてつなぐ未来のためにとっても重要なものです。

次のような、経営の効率化をはかっています。

- 水道では、現在市内に6か所ある浄水場を3つに集約することを計画しています。
- 下水道では、将来の流入水量に見合った適正規模へのダウンサイジングを検討しています。
- ガスでは、アセットマネジメントを活用した新たな更新計画を基に布設替えを行います。



お問い合わせ先 経営戦略室 ☎077-528-2863



企業局 × 平和堂

～水道週間イベント情報～

水道は、私たちの健康で快適な生活に欠かすことのできないライフラインの一つです。

新型コロナウイルス感染症予防として、手洗いやうがいに水道水は欠かせません。

そんな水道に関する理解と、関心を深めていただくため、6月1日から7日までの1週間、第63回「水道週間」が全国一斉に実施されます。

大津市では、平和堂石山、アル・プラザ堅田、平和堂坂本店で、水道週間のイベントを実施いたします。

※新型コロナウイルスの影響により、イベントの内容や日程が変更・中止になる場合があります。



簡単!手作りマイボトルで琵琶湖を大切に

琵琶湖のプラスチックごみを減らすため、自分だけのマイボトルを手作りしてごみを減らしましょう。

■日時/場所

- 6月5日(土)11時～15時/平和堂石山
- 6月6日(日)11時～15時/アル・プラザ堅田、平和堂坂本店

■料金・対象

- 料金無料
- 保護者同伴の小学校6年生以下対象
- 先着30名
- 各店とも定員に達し次第終了



アニメーション動画で楽しく水道を学ぼう!

122号にて特集した動画を、幅広く皆様に見ていただけるよう、下記平和堂店舗にて常時上映を実施します。

■日時: 6月1日(火)～6月6日(日)

営業時間中上映

- 場所: 平和堂石山3階レストスペース
- アル・プラザ堅田1階セントラルコート
- 平和堂坂本店1階セントラルコート



いつも当たり前に使っている水道のことが、子どもから大人まで楽しく学べる動画です!

お問い合わせ先 経営戦略室 ☎077-528-2863

大津の水 × クラフトビール

～食材も水も地産地消～



鮎ずしや、セタシジミ、近江米など滋賀県の食材を使い作った面白いビールをはじめ、近江富士イチゴやシャインマスカットなどを使ったフルーツ系のクラフトビールも製造する「近江麦酒」さん。このクラフトビールは、大津の水(水道水)で作られています。



地下水を使わず水道水を使おうと思った理由はなんですか

工場には井戸があり、地下水がでる状態でした。

しかし、「いつも安定した水質であること」、「ひねれば必ず出ること」はとても便利であり、なにより信頼性も高いため、水道水を使うことにしました。これまで、水質調整剤を使ったこともなく、安定した水質である大津の水で美味しいビールを作ることができています!



地産地消や循環の取り組みもされていると聞きました

現在、大津市内で麦やホップを作っています。

それに大津の水を合わせ、すべてを地元の天津でできれば、地産地消につながると考えています。また、廃棄物の麦芽のカラを使って土づくりをするなど循環型社会への貢献も行っています。

設備が小規模なので小回りの良さを活かし、面白いビールを作り続けます!



近江麦酒

滋賀愛にあふれる商品が多いですが、オーナーの山下さんの出身地は兵庫県。何かを作ること(クラフト)が得意な元プログラマーで、ビール造りに興味があり、2017年「近江麦酒」を滋賀県大津市にオープン。

月替わりで限定ビールを販売しており、工場兼販売所のほか、大津駅の観光案内所や一部の酒屋さんでも購入することができます。

大津市本堅田3-24-37 ☎077-536-5222 定休日:不定休

